

協議事項 6

神戸モデル標準服について

神戸モデル標準服について、協議事項として以下のとおり提案する。

令和 7 年 5 月 20 日提出

神戸市教育委員会事務局

事務局長 竹森 永敏

神戸モデル標準服について

1. 導入状況

- ・従来、市立中学校のほぼ全校で詰襟やセーラー服を採用していたが、扱いやすさ等の観点からブレザーやポロシャツに変更する学校が増加傾向にあった。
また、素材やデザインの選択肢の幅が広いブレザーを採用する場合、各校の生徒数等に応じて価格にばらつきがある等の課題があった。
- ・神戸市教育委員会では、市立中学校の標準服（制服）に求められている、①保護者の経済的負担への配慮、②性の多様性への対応、③生徒・保護者・地域等の意見の反映、④標準服のデザイン決定や販売店選定の合理性・適正性を「標準服が満たすべき留意点」として定め、これらを満たす共通の標準服として、「神戸モデル標準服」を作成し、令和 4 年 1 月に「中学校における神戸モデル標準服についての基本方針」を策定した。
- ・導入については、生徒や保護者の意見を踏まえて、導入時期や方法（①新入生が全員着用する、または②既存の標準服を維持し希望者の着用を認める）を各校で判断している。
- ・令和 5 年度から導入を開始し、令和 7 年度は全校で着用可能としている。
(全員着用 33 校・希望者着用 49 校、詳細は表のとおり)

時期	方法	学校名	校数	
R 5	全員着用	八多	1	1
	希望者購入・着用		－	
R 6	全員着用	本庄、魚崎、本山南、御影、鷹匠、 <u>原田</u> 、筒井台、布引、港島学園、湊川、須佐野、唐櫃、大池、 <u>山田</u> 、桜の宮、小部、大原、鶴台、 <u>大沢</u> 、淡河、駒ヶ林、高倉、東落合、福田、 <u>伊川谷</u> 、王塚台	26	30
	希望者購入・着用	垂水東、星陵台、長坂、神出	4	
R 7	全員着用	有野、須磨北、飛松、西落合、竜が台、玉津	6	51
	希望者購入・着用	本山、住吉、向洋、烏帽子、長峰、上野、渚、葺合、神戸生田、湊翔楠、夢野、兵庫、吉田、有馬、有野北、広陵、鈴蘭台、星和台、北神戸、雲雀丘、丸山、西代、高取台、長田、鷹取、太田、横尾、友が丘、白川台、桃山台、塩屋、垂水、歌敷山、多聞東、本多聞、舞子、神陵台、太山寺、井吹台、櫛谷、桜が丘、押部谷、平野、西神、岩岡	45	
R 8	全員着用	(舞子)		
		合計		82

ゴシック体：令和 5 年度時点で詰襟の学校 30 校　うち、傍線部はセーラー服 6 校

2. 成果

- ・性の多様性への配慮から、これまで詰襟やセーラー服を着用していた学校は全て神戸モデル標準服に移行した。
- ・また、共通化でスケールメリットが生じ、これまでの各校独自の標準服に比べて、ブレザー上下合わせて平均 3,700 円程度の値下がりにつながった。